

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

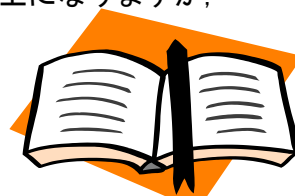
～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ 「読書へのアニメーション」と 言語活動

いささか「釈迦に説法」と思いつつ、「読書へのアニメーション」についてとりあげます。ご承知のとおり、「読書へのアニメーション」は楽しみながら子どものもつ読む力を自然に引出す手法として、スペイン人のモンセラット・サルトが提唱したもので、1997年に刊行された「読書で遊ぼうアニメーション」という書籍をとおして紹介されました。アニメとはスペイン語で「魂」、アニメーションは「活性化」という意味です。「わくわくさせること」ととらえるとわかりやすいでしょう。さらに2001年、「読書へのアニメーション75の作戦」（柏書房 宇野和美：訳）が刊行され、その手法の全容がより明らかになりました。

今、さかんに言語活動の重要性が叫ばれています。読書とは言語を読み取るという活動であることから、読書へのアニメーションも、ある意味、言語活動につながるものであるととらえることも可能ではないでしょうか。

現在では、読書活動のみならず、様々な教科の学習や総合的な学習の時間でも、アニメーションの手法を取り入れた学習が実践されているということを聞くと、言語活動との関連を裏付けていることがわかります。上記の本は刊行されてすでに十年以上になりますが、再度読み返すことにより、様々な教科における言語活動のヒントになることが得られると思います。



□ 読書活動！ あれや・これや

4月はじめの授業では、新しい教科書の内容紹介をされることと思います。内容紹介については、どうしても先生からの一方的な説明で終わりがちです。そこで、上記で述べた読書へのアニメーションを活用した、内容紹介の活動の一例を紹介します。（*）

◎活動例：「クイズを活用した単元紹介」（学習形態：個人または班対抗）

（活用例1）「どこにあるかな？」

- ・活動は教科書の目次のページで行います。
- ・各単元から単元内に書いてある文章を一節選び書き出します。それを黒板に掲示（もしくは映す）あるいは先生が読み上げ、生徒はそれがどの単元のものか、あてます。正解がでたら単元のページを開かせて先生から簡単な説明を行います。

（活用例2）「これ本当？」

- ・その単元に関する○×クイズを作成します。正解をとおして単元の内容がある程度わかるようにし、先生が説明をつけ加えます。



*「これならできる！楽しい読書活動」（学事出版 小中学校読書活動研究会/著）を参考にしました。

□ 図書館歳時記 (4月下旬～5月)

✿ 記念日関係

* 4月23日～5月12日：「こどもの読書週間」
(次ページをご参照ください。)

* 4月30日：「図書館記念日」
図書館法が公布された日を記念して、
日本図書館協会が制定しました。

* 5月5日：「児童憲章制定記念日」
1951年のこの日、憲法に基づき、
すべての児童の幸福を図るための児童の権利宣言として12条から成る
「児童憲章」が制定されました。

* 5月8日：「世界赤十字デー」
赤十字を創設したアンリ・デュナンの誕生日(5月8日)にちなんで、
1948年の第20回赤十字社連盟理事会の席上で制定されました。
アンリ・デュナンはノーベル平和賞の第一回受賞者になっています。

* 5月10日～16日：「愛鳥週間(バード・ウィーク)」
1950年、野鳥の保護および野鳥を取り巻く自然環境の保護を広めること
を目的に、日本鳥類保護連絡協議会により定められました。

* 5月17日：「世界情報社会および電気通信の日」
世界最古の国際機関の一つである国際電気通信連合(ITU)は1865年に
万国電信条約が署名されたこの日を「世界電気通信日」と決めました。
さらに、2005年、チュニスで行われた国連の「世界情報社会サミット」
において、5月17日があらたに「世界情報社会の日」と宣言されたこと
を受け、ITUはこの日を「世界情報社会・電気通信日」としました。
(注：「世界電気通信・情報社会日」という表記もあります。)



✿ 4月・5月に関係する文学者・詩人・俳人たち

♪ 4月・5月生まれの主な文学者たち

4月24日	つかこうへい (1948)	4月29日	中原 中也 (1907)
5月1日	北 杜夫 (1927)	5月6日	井上 靖 (1907)
5月14日	斎藤 茂吉 (1882)	5月20日	相田 みつお (1924)
5月22日	コナン・ドイル (1859)	5月23日	サトウハチロー (1903)

♪ 4月・5月に亡くなった主な文学者たち

4月23日	シェークスピア (1616)	4月23日	セルバンテス (1616)
5月11日	萩原 朔太郎 (1912)	5月22日	ヴィクトル・ユゴー (1885)

□ **耳よりな情報です！ ～ 役に立つサイトから ～**

（これまでの「役に立つサイト」のコーナーを、いろいろなサイトで見つけた読書活動推進の参考になる情報をお伝えするコーナーとしました。）

今月は「図書館歳時記」に記載しています「こどもの読書週間」（前ページに今年のこども読書週間のポスターを載せています。）について、もう少し詳しく説明いたします。

本市が毎月23日を「福岡市子どもと本の日」としていることは皆様よくご承知の通りです。毎月23日としたのは、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、それに基づき、4月23日を「子ども読書の日」と定められたことによるものでした。

さらに、ユネスコでは同日を「世界図書・著作権の日」と定めているとともに、その日はスペイン・カタルーニャ地方を発祥とする「サン・ジョルディの日」として西欧では広く親しまれています。（男女の間で花や本を互いにプレゼントしあうのだそうです。）

このようなことを受け、公益社団法人「読書推進運動協議会」では、この日から5月12日までを「こどもの読書週間」と決めました。前ページに掲載したポスターの他、下に示すような「しおり」と「ポップ」が同協議会により作成されており、同協議会のホームページからダウンロードすることが可能になっています。よかったら活用されてはいかがでしょうか。



（こどもの読書週間の標語が書かれたしおり）



（こどもの読書週間のポップ）

👉 「読書推進運動協議会」のHPアドレス：<http://www.dokusyo.or.jp>

ちなみに、読書推進運動協議会では、家庭における読書環境整備について、次の三つを重要点としてあげています。

- （１）幼児には保護者が本を読んであげること。
- （２）子どもたちの身近にいつも本を置くことを考え、たとえ短い時間でも、こどもが毎日本を読むことをほめ、さらに本を読むのを聞いてあげる。
- （３）保護者自らが、読書する姿を子どもたちの目にふれさせる。

これらは、正に、本市が推進している『「共読」のすすめ』と同じですね。また、学校での読書活動のあり方にも示唆するところがあるようです。

□ 図 書 館 員 の ひ み つ の 本 棚 《 No.108 》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが、毎月素敵な本を紹介してくださる
楽しみなコーナー。

えーっ、算数と 100 前に書かれた物語が結びついている?? なんてハイブリッド!!!

☆ 今月の本：『メリサンド姫 むてきの算数!』（E. ネズビット／作
灰島かり／訳 高桑幸次／絵 小峰書店 2014 年 1404 円）

☞ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/43591/1/108.pdf>

♪ あとがきにかえて * * * * *

新しい年度になりました。本年もどうぞよろしくお願いします。

今年も「学校図書館の運営等のもとより、さまざまな読書活動の推進に
役立つものを」という方針で作成にあたってまいりたいと思います。

「図書館歳時記」では、記念日関係で、図書とは直接関わりの無いことでも、その内容
について企画コーナーが作れそうなことは取り上げることにしました。企画コーナーに並
んだ図書を通して、子どもたちの関心の幅が広がることを願っています。

「役に立つサイト」のコーナーでは、学校図書館の運営や読書活動、教科の授業に関して、
いろいろなサイトから見つけた有益な情報を、これからもお伝えしたいと思います。

今年度から新たに、「読書活動!あれや・これや」を始めました。授業など、学習活動
の場で活用できそうな活動を具体的に紹介していきたいと思っています。しかし、本音を
言うと、先生方からの「こんなことをやっています」という実践例を紹介できたらいいな
と思っています。ぜひ、ご連絡をお願いいたします。

今回は間に合いませんでしたが、「Hello! 学校図書館」も継続したいと思います。
今後とも、取材へのご協力をよろしくお願いします。（取材要請は大歓迎です!）

今年度から福岡市学校図書館支援センターが本格稼働することでもあり、本市の子ども
たちがますます積極的に本と親しんでいくようになることを願って、子どもたちを取り巻
く全員で、共に協調・協力して取り組んでいきたいものです。

この通信ではできるだけ色々な学校の活動例を紹介したいと思います。そのために、
各学校・園からの情報提供を何より必要としています。下記まで、どしどし情報をお寄せ
いただきますよう、お願いいたします。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課
電 話： 711-4655 FAX： 733-5538

